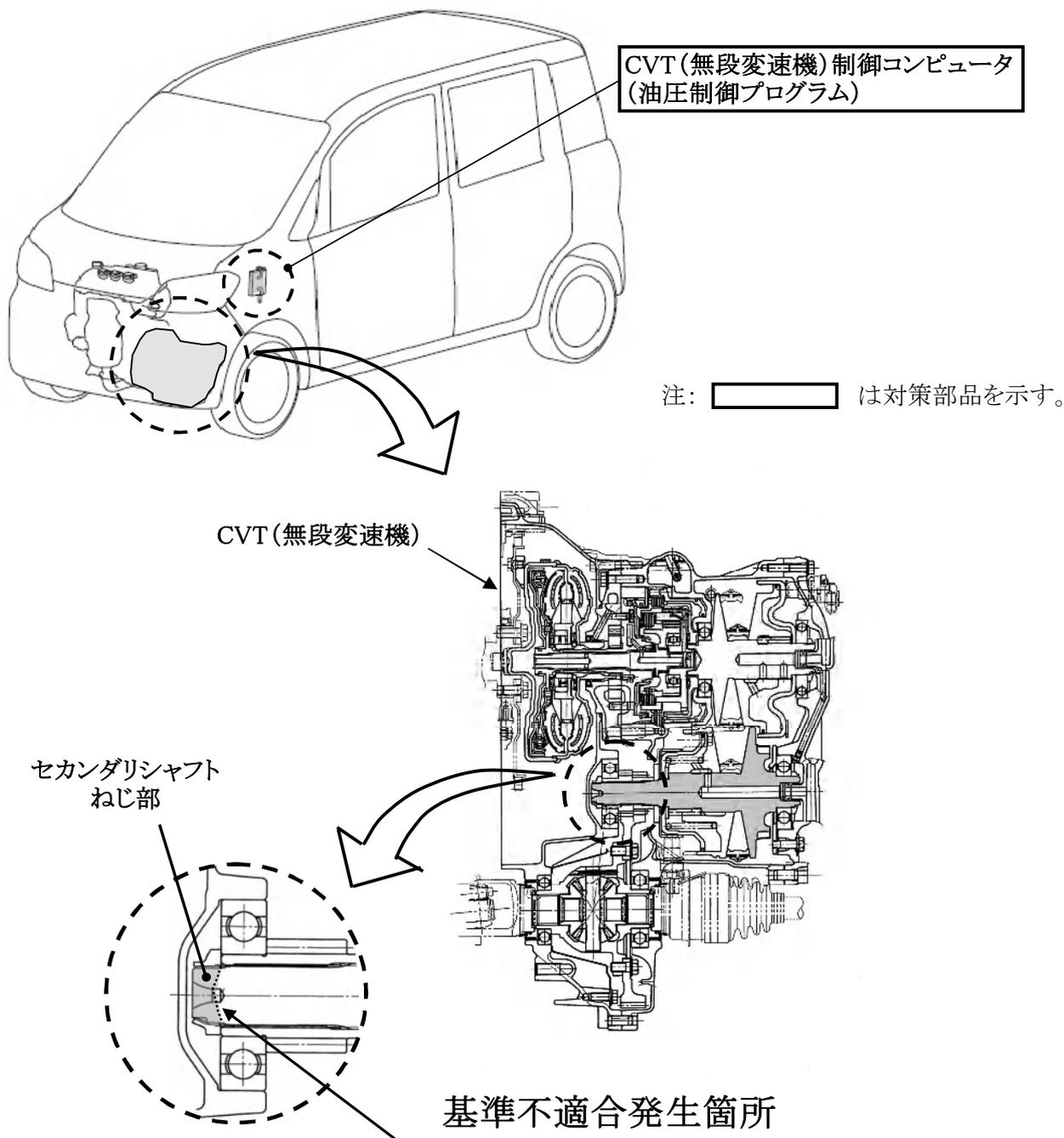


改善箇所説明図①



CVT(無段変速機)の油圧制御プログラムが不適切なため、シフト操作とほぼ同時にアクセルを踏み込む急な発進操作を行った場合やエンジンを空吹かしする等、高回転状態からイグニッションスイッチを切る操作を行った場合にCVT内に高油圧が発生し、セカンダリシャフトに想定以上の負荷が加わることがある。そのため、そのような操作を繰り返すと当該シャフトが破損して、走行不能となるおそれがある。

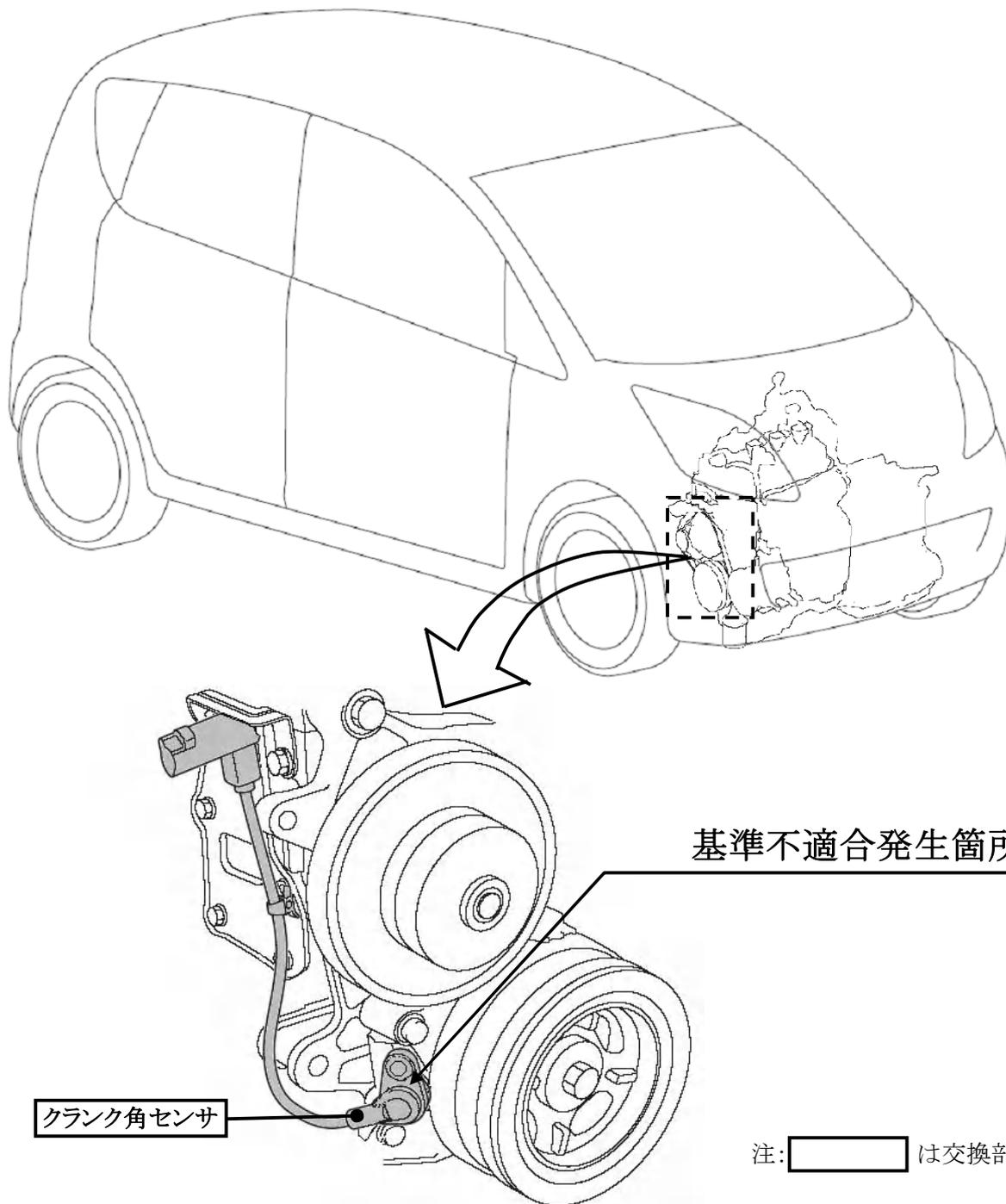
改善の内容

全車両、CVT制御コンピュータの油圧制御プログラムを変更する。

識別

運転者席ドアチェッカーのボデー取付け部上側に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



エンジンのクランク角センサにおいて、内部コイルの高温時の耐久性が不足しているため、登坂や渋滞等によってエンジンルーム内が高温になった状態で、全開走行等のエンジン回転数が高い運転を繰り返すと、振動で内部コイルが断線し、走行中にエンジンが停止する、あるいは、エンジンが始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

- 1 全車両、クランク角センサを対策品と交換する。但し、部品の準備に時間を要することから、部品が供給出来るまでの暫定措置として、エンジン制御プログラムをエンジン最高回転数を下げる仕様に書き換え、後日クランク角センサを対策品と交換し、エンジン制御プログラムを元の仕様に書き換える。
- 2 暫定措置が困難な車両については、全車両、クランク角センサを対策品と交換する。

識別

運転者席ドアチェッカーのボデー取付け部下側に黄色ペイントを塗布する。